

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和7年度）

施設の名称	名取市増田児童センター
指定管理者の名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
施設所管部課（室）	健康福祉部こども支援課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
昭和47年4月3日～平成26年3月31日	直営		
平成26年4月1日～平成28年3月31日	管理受託	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ	
平成28年4月1日～	指定管理者	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ (H29.8.3名称変更 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ)	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
	所在地	名取市みどり台三丁目19番地の4
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年0ヶ月）	
募集方法	公募 ・ 非公募	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市増田児童センター
所在地	名取市増田三丁目9番56号
設置年月	昭和47年4月
根拠条例等	名取市児童厚生施設条例、名取市放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例、名取市放課後児童クラブ実施条例、名取市児童館管理規則、名取市放課後児童クラブ実施条例施行規則
設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにするため児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設を設置する。
施設の内容	静養室、集会室、図書室、クラブ室、遊戯室等
開館時間	月曜日～金曜日：午前9時（小学校等休業日は午前8時）～午後7時
休館日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）
指定管理者が行う管理運営業務	放課後児童クラブ業務、自由来館業務、地域子育て支援拠点事業（一般型）、地域子育て支援事業（出張サロン）、名取市ファミリー・サポート・センター業務、地域活動クラブ業務、相談業務、各種行事及びクラブ活動の実施、自主事業の実施、児童センターだよりの発行（月1回、原稿等の企画構成）、小学校への長期休業時の利用周知
利用料金制度	採用の有無 有 ・ 無
	利用料金の名称

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度（Ａ）	前年度（Ｂ）	前々年度	評価対象年度の 対前年度増減率（％） $(A)-(B)/(B) \times 100$
	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	
開館日数	294日	295日	294日	-0.34%
延べ利用者数	62,184人	61,691人	58,032人	0.80%
利用者数（人/日）	211.5人/日	209.1人/日	197.4人/日	1.15%
主な増減原因	放課後児童クラブの登録児童の増加 土曜日利用児童の増加			

（注）対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

（１）収入

（単位：千円、％）

	評価対象年度（Ａ）	前年度（Ｂ）	前々年度	評価対象年度の 対前年度増減率（％） $(A)-(B)/(B) \times 100$
	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度	
指定管理料	48,827	48,827	47,827	0.00%
利用料金収入				
その他	1,715	1,446	1,254	18.60%
収入計（ア）	50,542	50,273	49,081	0.54%

（２）支出

人件費	43,003	40,773	41,864	5.47%
施設管理費	2,189	2,339	2,100	-6.41%
事業運営費	4,690	4,180	4,032	12.20%
その他	1,694	1,587	907	6.74%
支出計（イ）	51,576	48,879	48,903	5.52%

（３）収支

収支（ウ）＝（ア） －（イ）	-1,034	1,394	178	-174.18%
前期繰越収支差額	6,074	4,680	4,502	29.79%
次期繰越収支差額	5,040	6,074	4,680	-17.02%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

放課後児童クラブ、自由来館共に小学生の利用数は増加している。放課後児童クラブではない児童も下校後は児童センターへ行くという流れができている様子がある。身近な場所になっているからこそ、そこでさまざまな体験、経験が得られること。自分の意志で自由にのびのび過ごすことができるように環境や流れについては工夫している。また、児童の主体を生かした取り組みについても様々な活動をおこなった。下校後はその増加に合わせ、過ごし方や遊び方については工夫をしながら事業を行っている。中高生世代の子どもたちの児童センター利用も定着し、ほぼ毎日利用があった。遊戯室を中心とした自由遊びや地域行事にスタッフとして携わり、乳幼児親子、小学生、地域ボランティアとの交流も図ることができた。乳幼児の利用については、全体の利用人数が増えているのに対して、利用数が減少した。行事の際には定員いっぱいまで参加があるが、日常の利用に繋がらない状況があった。日常の中で様々なひろば内で定期的に実施したりして支援の積み重ねを止めないよう継続性のある取り組みも行った。

ファミリー・サポート・センター事業では、地域の子育て情報や子どもの対応に関することについて学び合いをおこなった。また、送迎のニーズが増えている中でこどもタクシーの運転手方に講話を行っていただくなど新たな学びの機会を設けることができた。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

友だちがと会える場所として児童センターを利用しているという児童の声がアンケートから多く聞こえた。また、自由来館であっても保護者の就労の関係で利用している児童もいるようだった。過ごし方に満足しているという声の中に、様々な「やってみたい」の声も聞くことができた。やりたいことが実現できる場所として児童センターに対する期待を感じることができた。中高生世代は、広い遊戯室を使用できることが好評の様子。他にも、日常やイベントを通して異年齢との交流も図れている。

保護者の声として、アンケート等により、職員の対応については概ね好印象をいただいている。利用人数が多い中でも、児童の様子を把握したり、変化に気づいたりすることについて、個々の関りをどれだけ大事にできるかが求められていると感じる。中には、把握できないこともあった場合でも児童や保護者から相談を受けて、対応に至ったケースもあった。困っていることを話してもらえようかどうかは日々の関りが大切であると感じている。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

小学生の利用人数の増加に伴い、環境設定について課題を感じている。増設を重ねているものの、庭がないため、学校行事等の都合等により過ごし方が左右される場合がある。児童一人ひとりの居場所を確保し、安心感のある環境を作ることには難しさを感じる。

小学生の利用が増加する反面、乳幼児親子の利用は減少している。イベントへの参加はあるものの、日常の利用にはつながっていない状況がある。小学校長期休業期間は特に多くの小学生が利用しているため子育てひろばへ足が更に遠のいてしまう。継続した支援を行えるために様々な工夫が必要と感じている。

駐車場については、市役所の駐車場を使用しているため、不便に感じている利用者の声もある。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
		労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。	○	○
		その他、関係法令等が遵守されている。	○	○
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	○
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	◎
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準(目安)】

評価		評価の考え方
◎	(優 良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良 好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

施設利用者が多い中、児童が自分の意志でのびのびと過ごすことができるよう施設運営を行い、児童の主体性を伸ばす取り組みをしていることは評価できる。

また、ファミリー・サポート・センター事業を通じて地域との交流や学び合いの機会を設けるなど利用者のニーズに沿った取り組みで地域との繋がりを図ったことも評価できる。

今後も、利用者の安全・安心の観点を優先しながらもニーズに寄り添った施設管理及び運営に努めていただきたい